

- ◆企画名 ～KU コアラ presents～2023 年度第 1 回ビブリオバトル
日程 2023 年 11 月 20 日 (月) 14 : 40～16 : 10
場所 千里山キャンパス凜風館 1 階ピアエリア
参加者数 12 名 (ピア・サポータ 2 名、研修生 3 名、一般学生 7 名)

目 的

この交流会の目的は、学年・学部を問わず「読書」という共通の趣味を通し、参加者同士がコミュニケーションをとることで、参加者の視野を広げ、未知の本との出会いの場とすることを目的とする。

内 容

当日は、発表者 5 名 (うち、KU コアラメンバー 1 名)、観覧者 3 名の参加があった。発表者は 1 人 1 冊紹介したい本を持参し、その本について発表してもらった。発表終了後、すべての本の中から一番読みたいと思った本「チャンプ本」を決めた。

【当日のスケジュール】

- ・開会のあいさつ
- ・自己紹介
- ・ビブリオバトル : 1 人 8 分
(発表 5 分 + 質疑応答 3 分) × 5 人
- ・投票
- ・結果発表 & インタビュー
- ・終わりのあいさつ & 参加賞配布
- ・アンケート入力
- ・集合写真撮影



チャンプ本は浅倉秋成著『六人の嘘つきな大学生』(角川文庫)とブルガーコフ著『悪魔物語・運命の卵』(岩波文庫)の 2 冊である。

効 果

- ・本企画が参加者にとって未知の本との出会いの場となったか。
アンケートから、参加者の 80%以上の学生が「この企画によって新しい本のジャンルに挑戦しようと思った」と回答しており、一定程度の効果があったと考えられる。
- ・参加者が主体的に参加できたか。
ビブリオバトルの競技性を活用することで、参加者が聞き手だけでなく話し手としても主体的に参加することを期待していたところ、参加者の中には、企画の 1 週間前から発表原稿を作成し、時間をかけて発表の準備をしてきてくれた方がいた。また、発表者だけでなく観覧者の一般学生も積極的に質問をしていた。これらのことから、この点は達成できたと考える。

改 善 点

- ・参加者アンケートにて「人前で発表するのではなく、全員同じ立場でフラットに話せる環境の催しの方が気軽に参加できる」という意見を頂いた。ビブリオバトルという企画の性質上、発表者と聴衆に役割が分かれるのはやむを得なかったが、今後の企画の中で、参加者同士がよりフラットな立場で話すことができるような企画運営に努めたい。
- ・今回の参加者は知人からの紹介での参加が多く、KU コアラとして SNS の投稿頻度をあげるにより広報力の向上を目指したい。
- ・開始時間を授業開始時間としたため、学舎の移動などもあり、開始時間の直前に参加者が来ることで企画開始が遅れてしまった。そのため、今後は移動時間なども考慮して企画開始時間をずらすなどの工夫が必要である。

感想

- 以前の企画に比べて参加者の所属学部が分散しており、さまざまな学部の学生が読書に興味を持っていると感じた。
- 2023年度に実施した企画の中ではかなり参加者が多かったことがうれしかった。
- 参加した一般学生が積極的に質問をしたり、楽しそうに話を聞いたり、学生同士の交流が見られた。

